

## 自民党 麻生新総裁誕生についての会頭コメント

党幹事長などの要職に就き歴代内閣を支えた実績と経験が評価されたのだろう。企業経営の経験から、経済成長を軸とした政策運営が期待できる。また、外相経験者であり、国際的な信用力があるのも魅力だ。麻生氏の言う「日本の底力 - 強くて明るい日本をつくる」ため、未来を見据えた景気対策を打ち出し、国民の経済、暮らしへの不安、政治への不満を一掃するような指導力を発揮して欲しい。

衆参ねじれ現象のなか、引き続き国会運営は困難な状況が続くだろうが、野党との調整・連携を図り、4度も総裁に挑戦した粘り強さで乗り越えて欲しい。まずは、新内閣の下で補正予算を成立させ、総合経済対策を実行し、国民生活のために解決すべき課題に対処して欲しい。その後、適切な時期に衆院解散・総選挙を決断されると考えている。少なくとも、現在の世界的不況や金融混乱の中では、政治空白や混乱が加わるような事態は回避すべきだろう。

原油・原材料価格の高騰による景気後退、リーマン・ブラザーズの経営破綻に端を発する国際金融・経済の混乱などにより、日本経済の先行きは明るくなく、特に中小企業は大変苦しい状況にある。中小企業の国際的競争力・成長力を強化し、新たな付加価値や顧客の創造、生産性の向上を促すような政策により、現在の景況を打破する必要がある。

ムダを徹底的に排除し、構造改革・財政再建路線を堅持しつつ、効果を十分検証した上で、麻生氏の言う財政出動による短期集中、重点特化型の景気刺激策を実施して欲しい。

以上

平成 20 年 9 月 22 日  
京都商工会議所  
会頭 立石義雄